2025 年 10 月 29 日

ロボット溶接ＲＴ種試験の鋼製エンドタブ試験体と代替エンドタブ試験体を統合

第 41 次検定試験から、ロボット溶接オペレータ試験平板継手溶接試験（RT 種）の鋼製エンドタブ試験と代替エンドタブ試験の試験体を統合します。主な内容は以下のとおりです。

- 受験事業所は鋼製エンドタブ試験、代替エンドタブ試験のいずれかを選択し受験する。２つの試験を共に受験する必要はない。
- 鋼製エンドタブ試験、代替エンドタブ試験いずれも図-1 に示す試験体を使用し、代替エンドタブ受験の場合は端部にエンドタブを設置する。
- 鋼製エンドタブ試験では、従来通り試験体端部 25mm を鋼製エンドタブとして扱い、外観検査・放射線透過試験は試験体端部 25mm を除いた範囲を対象とする。
- 代替エンドタブ試験を受験し、全ての試験に合格した場合は、鋼製エンドタブ試験と代替エンドタブ試験共に合格とする（ただし鋼製エンドタブ試験合格は鋼製エンドタブの型式認証を保有する場合）。
- 代替エンドタブ試験を受験し、端部 25mm の範囲の外観検査・放射線透過試験、外端マクロ試験および底面マクロ試験のいずれかが不合格で、その他の試験に合格した場合は鋼製エンドタブ試験合格とする（ただし鋼製エンドタブの型式認証を保有する場合）。
- 代替エンドタブ試験の底面マクロ試験の試験体幅は、鋼製エンドタブ試験に合わせて従来の 40mm を 25mm に変更する。

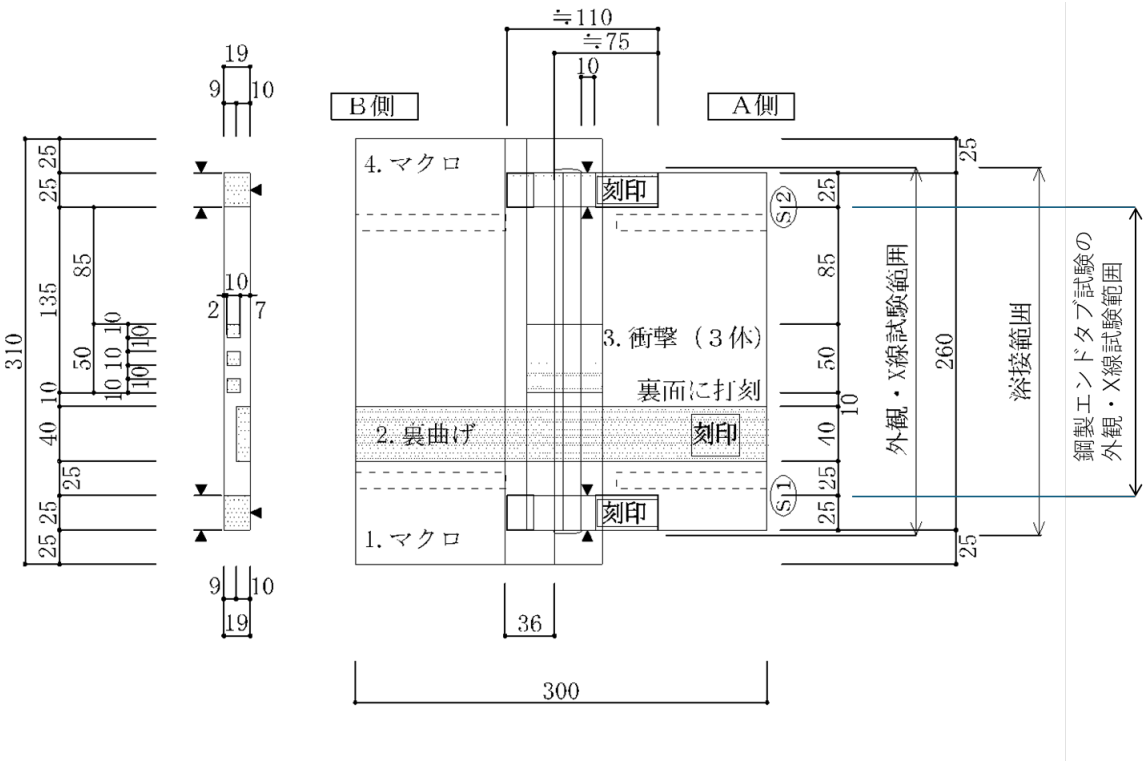

図-1　ロボット溶接オペレータ試験平板継手溶接試験（RT 種）の統合試験体